



バイカツツジ(ツツジ科) 里山に多い地味なツツジ、花は1.5cm程度で峰筋や雑木林に普通に見られる。



ハイマツ(マツ科) 船形山や栗駒山の高山にあるマツで、立ち上がることはない、実に羽根がない。



ハウチワカエデ(カエデ科) 里山から深山まで普通に見られる、新緑と共に咲く深紅の花は美しい。



ハクサンサヤクナゲ(ツツジ科) 深山から高山に普通、花は蕾の時は紅色だが開くとほとんど白に近くなる。



ハナヒリノキ(ツツジ科) 峰筋などに多い、地味な花を咲かせる、便所の蛆殺しに使用された。



ハリブキ(ウコギ科) 深山にある珍しい灌木、名の通り全体に鋭く長い刺がある、秋に赤い実を付ける。



ハルニレ(ニレ科) ブナ林内の湿潤地にある高木だがあまり多くない、鬼首の東北大学林が有名。



ヒノキ(ヒノキ科) 代表的な有用樹で各地に植林されている、ただし積雪が多いと生育が悪い。



ヒメモチ(モチノキ科)ブナ林内の常緑灌木、赤い実が葉腋に1~3個付き、似たツルシキミと区別する。



ブナ(ブナ科)代表的な樹種、管内では奥羽山系を中心に全体に分布する、特に栗駒山、船形山に多い。



ブナ(ブナ科)花は葉と同時に開く、4~6年に1回大量に開花し、結実する。



ブナ(ブナ科)発芽、春に一斉に発芽するが秋までにほとんどが枯れてしまい、翌年は1割以下になる。